

平成28年度 評価アンケート集計

1 そう思う、十分できている。 2 どちらかといえばそう思う。努力できている。 3 どちらかといえばそう思わない。やや不十分である。 4 そう思わない。努力不足である。 5 判断できない。わからない。

【保護者評価集計】

分野	No	評価項目	評価(1+2)
地域の期待	1	学校教育目標・教育内容が、生徒の実態や地域の期待を踏まえたものになっている。	79%
	2	これからの地域や社会を担うことができる人材を育てる教育活動を行っている。	74%
授業改善	3	分かりやすい授業・生徒の意欲を高める授業のための工夫や授業改善が行われている。	53%
	4	授業・学習指導を通して、生徒の能力を十分に引き出すことができている。	51%
生活指導	5	基本的な生活習慣(身だしなみ・時間のけじめ等)に関する指導が行われ、その成果が現れている。	94%
	6	生徒の健康指導や交通安全など、安全指導が適切に行われている。	90%
	7	いじめや暴力等の問題に毅然と対応し、安心して生活できる学校作りに努力している。	78%
	8	いじめ防止に向けた学校の方針を生徒・保護者にしっかりと示している。	66%
	9	生徒会活動や部活動など、生徒の自主的な活動に関する指導が適切に行われている。	80%
進路指導	10	生徒の職業観育成や将来への具体的目標設定のために役立つ進路指導が行われている。	68%
	11	生徒の実態や進路希望にあった進路実績を残すことができている。	64%
情報提供	12	保護者に対して、通信やプリント等を通して、学校の様子や情報提供などが十分にできている。	76%
PTA	13	PTA活動は熱心に取り組まれている。	77%
連携	14	保護者や地域の意見や要望を取り入れ、連携した教育活動が進められている。	61%

【教職員評価集計】

分野	No	評価項目	評価(1+2)
総務分野	1	他分掌との十分な連携が図られたか。	60%
	2	教育環境の整備・補充は十分におこなわれたか。	55%
	3	学校行事等の実施が円滑におこなわれたか。	71%
	4	中学生・保護者、地域に向けての学校紹介が十分におこなわれたか。	65%
	5	PTA活動への協力が円滑におこなわれたか。	74%
教務分野	6	授業を改善・工夫するための環境を設定できたか。	36%
	7	教務内規を的確に運営するとともに課題を明らかにし、その改善を図ったか。	52%
	8	カリキュラムについての共通理解ができたか。	48%
	9	教務関係諸作業が円滑に行えたか。	71%
生徒指導部	10	男子の身だしなみ(ボタン・Yシャツ等)が日常的に適切に指導なされてきたか。	58%
	11	女子の身だしなみ(スカート丈・指定カーディガンのボタン等)が日常的に適切に指導なされてきたか。	58%
	12	ケータイの持ち込みルールについて、日常的に適切に指導がなされてきたか。	58%
	13	生徒指導における職員の共通認識がなされ、学年・クラス間の傾斜なく実施されていたか。	48%
	14	指導部がクラスや学年に対して、適切な支援や協力ができているか。	55%

分野	No	評価項目	評価(1+2)
生徒会分野	20	生徒会の活動が全校生徒・教職員の視野に入ったか。	36%
	21	学校祭は計画・実行・反省が十分にされたか。	19%
	22	生徒会執行部員の育成はできたか。	19%
	23	ボランティア活動に対する積極的参加姿勢が育成されたか。	26%
	24	来年度以降の生徒会費・予算の検討は十分にされたか。	29%
保健安全部分野	25	健康診断、健康調査、保健便りを通じて、生徒自ら健やかな生活を営むよう工夫させることができたか。	78%
	26	清掃活動を通して、生活環境の美化、整理整頓に努める心を育むことができたか。	58%
	27	教育相談活動の充実を図ると共に、担任、学年、分掌との連携を促進することができたか。	81%
	28	災害に備え、速やかに対応できる姿勢を身につけさせることができたか。	45%
情報管理分野	29	各主管分掌・学年との連携が図られた、業務内容の精選ができたか。	65%
	30	各種機器の更新、メンテナンス、サポートがスムーズにできたか。	70%
	31	情報セキュリティの維持・管理が的確になされていたか。	71%
	32	資産管理システムを機能させられたか。	48%

学年	No	評価項目	評価(1+2)
第一学年	33	稲雲高校生としての基本的な生活習慣を身に付けることができたか。	63%
	34	家庭学習を含めた学習習慣を確立することができたか。	40%
	35	学力を向上させる授業を行うことができたか。	53%
	36	傾斜のない指導をすることができたか。	53%
第二学年	37	高校生または稲雲生としての自覚と自信そして責任感を確かに持たせられたか。	68%
	38	仲間への思いやりと尊重の気持ち、また協力して仲間とともに取り組ませることができたか。	58%
	39	「自分から勉強する」という姿勢を持たせ、進路実現に向けて取り組みせられるようになったか。	39%
	40	学年団として共通理解の下、一人ひとりの生徒を適切に指導できたか。	55%
第三学年	41	進路の方向を具体化していく過程で、生徒に目標を持たせ意欲的に学習に取り組ませたか。	47%
	42	進路に向けて各種講習・模試への参加を促し、効果的な学習支援を行えたか。	43%
	43	稲雲生として自ら行動を起こし責任を持って行動する、意欲的な高校生活を送らせることができたか。	43%

広報活動	15	地域や一般の方々に対する学校の広報活動が十分に行われている。	60%
施設設備	16	施設・設備は教育活動するのに十分であり、整備が行き届いている。	63%
実感	17	お子さんを本校に入学させて良かったと思いますか。	81%
生徒の様子について	18	稲雲生は、熱心に学習に取り組み、学力を伸ばしている。	69%
	19	稲雲生は、身だしなみ生活マナーなどが身についている。	92%
	20	稲雲生は、部活動や各種行事などに熱心に取り組んでいる。	92%

進路指導分野	15	進路シラバスに基づき、先を見据えた進路指導を行うことができたか。	58%
	16	進路通信を通して、生徒への適切な情報提供を行うことができたか。	32%
	17	進路学習や進路集会を通して、生徒の進路意識を育成することができたか。	71%
	18	各分掌や学年との連携を十分にとり、年度計画を組織的に実施することができたか。	61%
	19	各学年の進路係が適宜模試分析を行い、講習計画に適切に反映することができたか。	45%